

# 「議会改革度調査2017」 トップ10にランクイン

全国の地方議会の議会改革度を調査する早稲田大学マニフェスト研究所の「議会改革度調査2017」において、桐生市議会が全国で第6位という大変高い評価を受けました。

この調査は、早稲田大学マニフェスト研究所が日本全国の都道府県議会・市区町村議会を対象に2010年から実施しているもので、今回で8回目になります。議会が果たすべき役割を、(1)情報共有（本会議や委員会の議事録や交際費・視察結果の公開など）、(2)住民参加（傍聴のしやすさ、議会報告会などの実施、住民意見の聴取）、(3)議会機能強化（議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況）の3つの柱として、それぞれの議会改革の度合を数値化し、ランキングを出しています。

今回の調査では、桐生市議会は前年の第17位から第6位とさらに大きく躍進し、堂々のトップ10入りを果たしました。特に、3つの柱のうち(1)情報共有と(3)議会機能強化については、大きく順位を伸ばしています。これは委員会等の会議録の公開、PDCAサイクルに基づく議会基本条例をはじめとした議会改革の検証、また、常任委員会の所管事務調査に専門的知見を活用したことなど、新たな取り組みが大きく評価されたものと思われます。その他にも、地方議会が抱えている「議員のなり手不足」「女性が働きやすい環境づくり」「多様な人材確保」などの問題について、いち早く取り組んだことも高い評価の対象となったものと思われます。

ランキング表のとおり、桐生市議会は、群馬県内はもとより関東圏内でもトップという評価をいただきました。しかし当然のことながら、桐生市議会が議会改革に積極的に取り組むのは順位を上げるためではなく、市民の皆様にとって「いちばん身近な頼れる議会」を実現するためであり、順位はその姿勢が評価された結果だと理解しております。今後とも、市民の皆様にとってより良い桐生市議会であるよう議会一丸となって頑張ります。

## 「議会改革度調査2017」全体ランキングTOP10

順位	市議会名
1位	北海道 芽室町議会
2位	滋賀県 大津市議会
3位	大阪府議会
4位	石川県 加賀市議会
5位	三重県 四日市市議会
6位	群馬県 桐生市議会
7位	岐阜県 可児市議会
8位	福島県 会津若松市議会
9位	大阪府 堺市議会
10位	東京都 町田市議会

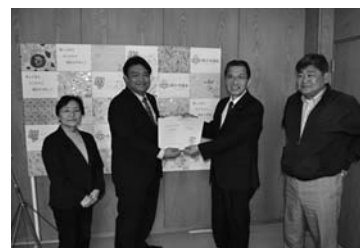
調査：早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査部会



委員会会議結果



桐生市婦人団体連絡協議会との  
まちづくり討論会



基本条例検証



商業高校とのまちづくり討論会



6月21日(木)・22日(金)の2日間にわたり、16人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の下のカッコ内は所属党派名（無会派は会派に属さない議員）



山之内 肇  
(公明クラブ)

**「健幸」ポイント  
制度の創設**

**質問**

健康寿命を伸ばし、どんなに高齢化が進んでも、健やかで幸せに暮らせる桐生市を目指すための政策として、「健幸」ポイント制度の導入を継続的に提案してき

た。ぜひ実現させたい。ただ、きた強く願うが、制度創設に向けての現在の段階、今後の見通しは。

**答弁**

市民にとって魅力的な健康づくり事業やモデル地区を設定しての取り組みなど、研究・検討を行っている。今年度、保健事業の充実を図る中でポイントの付与方法等、具体的な検討に入っており、できる

限り早くインセンティブ施策の具現化を図りたい。

**救急ステーション  
制度の創設**

**質問**

緊急時にAEDを使用できる体制強化に向けて、「(仮称)救急ステーション制度」の創設を進めていただきたいと考えるが見解は。

**答弁**

設置状況調査にきた民間施設については、AED設置施設であることの表示と付近で事故等が発生した際の緊急貸し出しについて、個別訪問を実施し、協力を求めたい。



**その他の質問項目**

◆すべての施策に「健幸」の視点を

◆AEDを24時間使用できる体制の構築（公共施設の屋外への施設推進、コンビニへの設置）



新井 達夫  
(そうぞう未来)

**運転免許制度の改正による  
消防団員の免許証**

**質問**

運転免許制度の改正により消防車を運転することができない消防団員の人数、割合とそれに伴う支障と対策は。

**答弁**

消防車を運転することができない人数と割合については、桐生方面団が22人で7.0%、新里方面団が21人で23.6%、黒保根方面団は全団員運転可能となっている。運転以外での

**質問**

支障については、機関員として選任することができないため、群馬県消防学校の教育課程である機関科を受講できないことである。対策については、今後の消防団運営に係る重要な課題であるため、さらに研究し対応を図ってまいりたい。

**ふるさと納税**

**質問**

当市の寄附者への返礼品の取り組

**答弁**

返礼品への取り組みについては、各方面からご意見・ご要望をいただいているが、制度本来の趣旨に沿った形で寄附金を有効活用するために、返礼品の調達やPRに必要な以上の経費をかけないことを前提に、商工会議所や企業・事業者等の協力を求めながら返礼品の候補を検討してまいりたい。また、ふるさと納税制度を活用した創業支援など、地域課題の解決や地域活性化に向けた新たな取り組みについても推進してまいりたい。





園田基博 (創志会)

### 高齢化対策

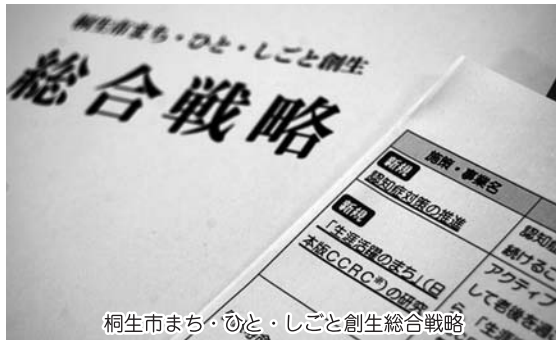
#### 質問

桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中に「生涯活躍のまち」(日本版CCRC)が示されているが実施状況はどうか。

#### 答弁

「桐生市高齢者施策推進協議会」や「地域包括ケアシステム構築検討委員会」において検討を行い、当該構想の実施が、高齢化に拍車をかけ、若い世代への負担増につながってしまうことや介護・医療に従事する職員の人材不足を危惧する声など、慎重な意見が多く提起された。

また、先駆的モデル地区の長野県佐久市を視察したが、費用対効果や事業効果の持続性などを事前に十分に検証する必要があると考えられる。今後も庁内関係部署の横断的な連携のもと、慎重に検討



桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略

を重ねたうえで、当局の方針を定めていきたい。

#### 質問

高齢者対策に係る市長の考え方は、

#### 答弁

団塊の世代が75歳以上となる2025年には、市全体の20%以上が後期高齢者になるので、早急に対策していかななくてはならないと考えている。

また、今後も地域包括ケアシステムの構築を進める観点から、誰もが自分らしく住み慣れた地域で、それぞれの能力に応じて、自分らしい暮らしを最後までできる地域づくりを目指していきたいと考えている。



渡辺恒 (日本共産党議員団)

### 保育の充実

#### 質問

賃金が低く保育士の人員確保は厳しい状況であるが、保育士が安定的に働ける環境を作るため、市として独自の支援はできないか。

#### 答弁

定価 公 格はどの園においても、子どもが健康やかに成長するために適切な水準の保育ができるよう金額が定められているので、現在のところ市独自の支援は考えていない。しかし、十分な保育ができないという現場の声もあるので、様々な機会を捉え、県を通じて国に公定価格や処遇改善の見直しについて要望してまいり



保育園の様子

たい。

### おりひめバス

#### 質問

バス停がない、などの理由でバスに乗るのが難しい人が大勢おり、そういう人の意見を聞いていくことが今後のバス交通の課題であると考えるが、どのように取り組んでいくのか。

#### 答弁

今 県立高校の統廃合が予定されており、それに合わせた見直しを検討しているが、特に桐生女子高校の通学用の輸送力の振り直しのため大規模な改正となること

も予測されることから、今年度から運行計画の見直しの準備を始めている。年内には自治会を通じて要望調査を実施し、市民からの声を聞きたいと考えている。



久保田裕一 (そうぞう未来)

### 新里・黒保根支所の日直業務

#### 質問

平成30年5月より閉庁日の日直業務が民間委託となったが、概要及び影響は。

#### 答弁

概要については、これまで支所の職員が行っていた日直業務を民間業者に委託し、各支所に民間の職員1人を配置するものである。委託業務の主な内容は、来庁者や電話への対応、施設の鍵の貸し出しなどとなる。また、民間委託に



特急トキaido号

よる影響として、まずメリットは、閉庁日の職員体制は新里支所が2人、黒保根支所が1人で対応し、年間1人当たり6、7回の日直業務があったが民間委託したことで職員の負担軽減と平日業務における職員体制の充実につながった。また、デメリットは、支所での税金などの現金の取り扱いや死亡届の受付ができなくなったことがあるが、それ以外は特に変化はない。

### 特急料金無料化社会実験

#### 質問

東武桐生線の特急料金無料化社会実験について、県と東武鉄道との協議はどのように進んでいるのか。

#### 答弁

群馬県が平成30年度に約700万円の予算を確保し、年内の実施を計画中であるが、その方法については利用者が社会実験に参加しやすい形で、混乱なく実施できるよう群馬県と東武鉄道で現在も協議を進めている。



藤 英 人  
(創志会)

### 情報セキュリティ対策

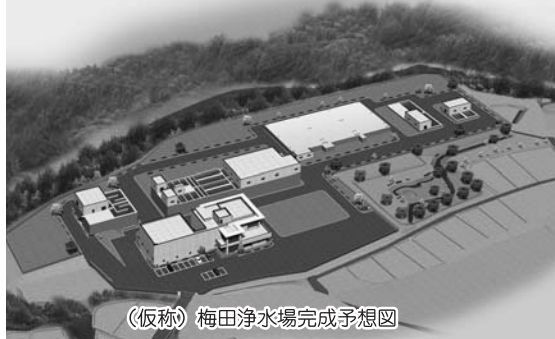
**質問** サイバー攻撃に対するサーバーやネットワーク系の今後の対策強化は。

**答弁** 個人番号利用事務系ネットワーク、L G W A N 接続系ネットワーク、インターネットワーク、中間サーバー接続系ネットワークの4種類のネットワークを完全分離しているため、他のネットワークに侵入することはできない仕組みとなっており、万全なセキュリティ対策を行っている。

### データセンター関連の企業誘致

今後、保守委託業者と情報共有を図りながら安全で強固なネットワーク運営に努めてまいりたい。

**質問** 首都圏に集中している備蓄データを地方へ分散化する



(仮称) 梅田浄水場完成予想図

るため、(仮称)梅田浄水場の周辺に桐生の水道水を利活用できる企業を誘致することについて、当局の見解は。

**答弁** データセンターの設置にあたっては、機器の冷却に水を使用する場合は、都心と比較し良質な水が安価で入手できることから、企業誘致における大きなアピールポイントとなる。地域未来投資促進法に基づく土地、家屋を対象とした固定資産税の3年間の減免制度なども併せて当市に立地する優位性をPRし、誘致活動を推進してまいりたいと考えている。



始 原 井 浩  
(クラブ21)

### 子ども見守り

**質問** 登下校中の児童を狙った犯罪が後を絶たないが、通学路での子どもの安全を守るための桐生市の取り組みは。

**答弁** 全国的に不審者の声かけや連れ去り事件は後を絶たず、大きな社会問題になってきている。当市においても危険性は考えられ、不審者は子どもの下校時に出没することが多いことから、当市ではすべての小学校のすべての通学路に「子ども安全協力の家」を566軒設置し、登下校時のいざという時逃げ込める安全な場所を確保している。また、児



通学の様子

童・生徒の安全確保のため、毎月、午後3時からの昼間補導、午後4時30分からの夕方補導、午後7時からの夜間補導のほか、各地区において自主的な任意補導も行っている。さらに、各区や関係団体による見守り活動や補導連・PTAなどがステッカーを貼ったのPatrol活動など、多くの人に協力していただき、不審者が犯罪を起こしにくい環境の醸成に努めている。

また、関係機関との連携については、3水曜日に補導連、学警連、職警連、警察署の代表で構成する青少年対策合同会議を開催し、不審者の出没情報や適切な対応方法などを話し合い、情報の共有化と共通理解を図りながら関係者が一丸となって対応している。

### 職員の市内居住



規 飯 島 規  
(無党派)

**質問** 桐生市職員は桐生市に住むべきではないか。桐生市職員服

**答弁** 桐生市職員服

規則の考え方は、昭

和30年に制定され、職

員の職務上における基本

的な「決まり」を規定し

ているものであり、市の

職員は市内に住んで桐生

市のために働くのが基本

という考え方を示したも

のである。

現在、市外居住の許

可基準は、明文化して

おらず、1件ごとに判

断している。許可の多

くは、市外に家を新築

又は、購入する場合や



桐生市役所

情である。しかしながら、職員の市内居住は、基本と考えており、災害など緊急時の対応や一市民として地域活動に積極的に参加し、市民が何を考えているのか、直に感じることは大変重要なことであることから、機会があるごとに職員の地域参加について指示しており、今後も職員には、市内居住の重要性について説いていきたい。また、職員の採用は、面接時に市内に住むことの重要性を伝え、本人の居住意思を確認しているが、「居住の自由」などから市内居住を任用条件にするのは、研究が必要と考える。



北川久人 (創志会)

### 観光

#### 質問

観光客を、集客力のある動物園・遊園地から市街地へ誘導するべきと考えるが、これまでの取り組みは。

#### 答弁

ゴールデンウィーク期間中に、遊園地ゲート前において、職員による観光案内及びアンケート調査等を実施し、また土日祝日に、低速電動コミュニティバス「MAYU」を遊園地から有鄰館を結ぶコースで運行し、観光客の動線を作るとともに市内消費を拡大させるため、飲食店や物産品を紹介したパンフレットを園内で配布している。

#### 質問

市街地へ誘導するため、広告料収入を財源にチラシ等を作成し、駐車場の誘導員等が配布することについては。

#### 答弁

民間事業者との連携強化が図



桐生が岡遊園地

れるとともに、市の財政的負担の軽減につながることから有益な手段と考えている。既に遊園地の管理運営を行っている桐生市スポーツ文化事業団では、園内パンフレットを飲食店等から広告料を得て制作、配布している。新たな宣伝物を制作し、駐車場誘導員等が車両誘導時に配布することにについては、安全面等に問題がないか、どのような情報が必要かを研究し、その対応について検討したい。

#### ○その他の質問項目

◆桐生市歴史的風致維持向上計画



辻正男 (そうぞう未来)

### 皆沢地区整備

#### 質問

皆沢地区の携帯電話の基地局設置が遅れている理由と今後の予定は。

#### 答弁

携帯電話の基地局建設については、通信事業者から他の基地局設置工事の關係により遅れていると聞いています。基地局建設については、地元住民からの要望事項の一つであり、またストックヤード関係者にとっても必要なものと考えているので、今後も早期設置に向けて通信事業者への要望を続けていき、現時点では、年内には完成をさせたいと伺っています。

### ペットボトル無配布

#### 質問

堀マラソン大会と元宿浄水場開放において、ペットボトルの配布がなかったが、その理由は。

#### 答弁

被災地の支援と在庫数に不足が生じ必要量を確保することができなかつたことによるものである。堀マラソン大会においては、水道局の給水車をゴールに近いステージ裏に配置するとともに、婦人会の協力をお願いしながら、温かい麦茶の提供と合わせて、スポーツドリンクを配布し、飲料水の提供に努めた。今後は、ランナーの健康上のことも考慮し、フイニッシュ時に何らかのペットボトル飲料水を提供できるように検討したいと考えている。



堀マラソン

し、飲料水の提供に努めた。今後は、ランナーの健康上のことも考慮し、フイニッシュ時に何らかのペットボトル飲料水を提供できるように検討したいと考えている。



周東照二 (公明クラブ)

### 桐生市場内の道の駅設置

#### 質問

実現できなかつた経緯は。

#### 答弁

道の駅設置要件として、設置者は所在自治体もしくは所在自治体を含む第3セクター方式、あるいは公的法人等が事業主体となつて設置する施設であること。また、公設卸売市場を民間活力の導入によって地方卸売市場として存続させ、市場事業の継続を図



桐生地方卸売市場

る目的で民営化された経緯もあることから、桐生市が直接的に事業主体となる道の駅の実現は大変難しいと桐生地方卸売市場に回答している。なお、同時期にみどり市にも協力依頼があり、単独での協力は難しい旨回答がなされていると伺っている。

### 設置に向けた桐生市の考え

#### 質問

市民要望等を受けて再度設置に向けて努力していただきたいと思うが、市当局の見解は。

#### 答弁

桐生市が直接的に事業主体となる道の駅設置は非常に難しいものであると考えている。しかしながら、地域の活性化と情報発信を考慮した直売所等併設の道の駅類似施設である市場の駅や食の駅などについては、桐生地方卸売市場を含む民間企業が事業主体となり計画されるのであれば、市としてどういった形で支援ができるか検討してまいりたい。



見 武 男  
人 (創志会)

## 学校における 道徳教育

**質問** 当市の道徳教育の考え方と家庭との連携は。

### 答弁

本市における道徳教育の考え方として、平成29年3月告示の小中学校学習指導要領に示された「道徳教育の目標」の達成に向け、各学校で確実に実施した

いと考えている。学校における道徳教育は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目的に、道徳科の授業はもとより、学校のあらゆる教育活動を通じて指導しており、年間35単位時間の指導において、学年ごとに示されているすべての道徳的価値に関する内容項目を扱い、児童生徒が自分事として考えなが

ら学習できるよう指導の工夫を行っている。また、家庭との連携においては、学校だけではなく、家庭や社会がその目標を共有し、一体となって取り組むことが不可欠であるため、授業参観等で道徳科の授業を公開したり、道徳科の授業で児童生徒が考えたことを通信等で家庭に発信し、親子で道徳に関する話し合いができるよう話題の提供や、講演会を行ったりするなど、子どもたちの道徳性を養う上で学校教育と家庭教育の連携が進み、より効果が上がっているよう工夫している。



授業の様子



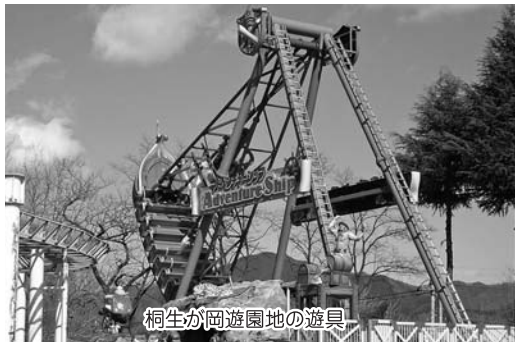
田 島 忠 一  
(そうぞう未来)

## 桐生が岡公園

**質問** 遊具の更新予定があれば伺いたい。

### 答弁

現在、利用している遊具は、適切な点検、探傷検査を実施し、必要に応じて、補修・修繕、部品交換などを行い、遊具の長寿命化と安全確保を図っている。このように、今ある遊具を少しでも長く使用できるように管理、運営を行っていることから、現在のところ遊具の更新予定はない。



桐生が岡遊園地の遊具

ができるメリットがあるが、具体的にどのような検査なのか。

### 答弁

生化学検査及び血球計数検査を行っているほか、希望された人に、B型肝炎、C型肝炎、梅毒、HTLV-I抗体検査を行っている。

### 質問

B型、C型肝炎ウイルス検査により肝がんが予防できる事が判明している。健康な人が献血をして、様々な病気やがんにならないために検査を受けるよう周知していただきたいが、考えを伺いたい。

### 答弁

献血は、日本赤十字社が、献血していただいた人への感謝の気持ちで実施しているものであるため、ご理解いただきたい。

## 献血の現状

### 質問

献血を行うことにより、血液検査



小 滝 芳 江  
(クラブ 21)

## 小中一貫校

**質問** 平成22年の一般質問において小中一貫教育の導入について質問があり、今後、可能性について検討を進めたという答弁があったがその後の研究内容は。

### 答弁

小中一貫教育の前段階にあたる小中連携教育を数年前から実施し、各中学校区において教員の兼務発令による小中乗り入れ授業の実施、授業参観・行事での児童生徒や教職員の交流等、様々な小中連携の取り組みを進めてきた。この取り組みにより、中学校での学習へスムーズに移行できたことや、中学校生活への不安を軽減できたことなど一定の成果を上げることができた。

### 質問

今年度から3年間かけて黒保根小学校と中学校における小中一貫教育の研究

究をするということだが、小中一貫校設置についての市長の考えは。

### 答弁

黒保根地区に児童生徒の推移からも早急に検討する必要があることから、早期の小中一貫校の設置を念頭に、小中学校の教員が一体となった組織体制や9年間一貫した系統的な教育課程を検討するなど、黒保根地区の子供にとってより望ましい学校のあり方を、スピード感をもって研究するよう教育委員会にお願いしているところである。



黒保根中学校



関口直久 (日本共産党議員団)

### ブルーインパルス

**質問** ブルーインパルス飛行招致はどこで検討し決定されたのか。

**答弁** 桐生八木節まつり協賛会の企画財務委員会事務局である観光交流課が担当となって立案した。ブルーインパルスは、全国各地における祭りや記念行事で展示飛行を実施している状況を鑑み、第55回を迎える桐生八木節まつりの開催を記念した事業として、桐生市長と桐生八木節まつり協賛会会長の二者連名で、防衛省自衛隊群馬地方協力本部長あてに展示飛行の依頼書を提出し、4月上旬に展示飛行場所に選定されたとの連絡があった。なお、最終的には主催団体代表者会議において決定となる。

**質問** ブルーインパルスの飛行について様々な課題がある



ブルーインパルス展示飛行イメージ

が、飛行中止を求める要請書などはどのくらい出されているのか。

**答弁** 中止の申し入れは8件で、面談による中止の申し入れは1件、はがき等については94通いただいている。

**質問** この状況の中で桐生八木節まつりにおけるブルーインパルスの飛行を中止するべきと考えるが当局の見解は。

**答弁** 様々な観点から検討した結果、今回招致することに決定させていただいた。安全性の確保を最優先に実施したいと考えているのでご理解いただきたい。



伏木康雄 (無会派)

### 市長退職金について

**質問** 市長退職金は、市長任期中の成果に応じて支払われるべきではないかと考える。

**市長退職金の議論** については、小泉元首相が、「一般的に自治体の首長の退職金が高すぎる。例えば、多選をする場合には、億を超える場合もある。そんな中で、今、自治体財政は大変厳しいので、どうかそういった部分を抑えてくれないか」という発言をしている。また、この数年の中で他の自治体で、いろいろな取り組みがなされており、市長退職金を廃止している自治体もある。



桐生市役所

あるいは、廃止だけではなく、市民に判断していただいで、決めていこうではないかという議論もあり、東村山市では結論はまだ出ていないようであるが、そういった議論がある。

このように、市長退職金のあり方について、議論を始めるべきではないか。その点について市長はどう考えるか。

**答弁** 小泉元首相の話は、日本総研の首相の退職金というところを書いてあったので読ませていただいた。様々な意見を持った首長もおり、また、市長の退職金についていろいろ議論されているというの承知している。ただ、ある程度は皆さんで議論したうえで、市長退職金のあり方を検討していくことは必要になると考える。

## 人事案件

市議会は、次の人事案件3件に、同意することに決定しました。

教育委員会委員

高山信廣氏 (新任)

公平委員会委員

川村隆氏 (再任)

固定資産評価員

星野元保氏 (新任)

## 会派構成

(H30.6.1 現在)

- 創志会 (6人)
- そうぞう未来 (5人)
- クラブ21 (3人)
- 公明クラブ (2人)
- 日本共産党議員団 (2人)
- ※ 無会派議員 (4人)